

陽気だより

養徳社 検索

ホームページからご覧いただけます

No.14 2008.5.15

第二号から

『陽気』は、昭和24年5月の創刊、平成21年に60年を迎えます。その足跡の一端を、昔の記事から振り返っていきます。



用意をしておられますか。
C おつまみくらいはしてあげますけれど、用意したくてもない時がございませう。ですから、私はお客さんの「徳」だと思っ

ています。お徳のある方ときは、ふしぎにいろんな物が集まるのですが、それこそ何もないときに来られる方は、お徳がないのでしうね。そう思っています。

A お酒飲みを主人にもちますと、そういう苦労があります。
記者 それじゃ、お酒飲みの主人は、あまり喜ばれないでしょうね。

A そうね、一杯きげんはいいんですけど、ぐでんぐでんになられると、厄介でね。
C それでも、お酒を上る方は、お料理を味わって下さいますから張合いがありますわ。飲まない方は、どんどん召上ってしまうので何ですか、物足りなくて……。(以下略)

出席者 増田千代子・小松原千枝・宮内つなゑ・津川やすは・楠原智慧子・松山和子(敬称略)

不意のお客
記者 今日は奥様方に思い切った打ち明け話を伺いたいと思いますから、どうぞ御遠慮なくお願いいたします。

と、少し飲みはじめると、あれも呼べこれも呼べということになって、五人、七人、十人になるんです。主人はいい御機嫌ですが、あわてて準備をする妻君は全くたまらないんです。そういうような御主人の癖で困っておられる方はありませんか。

A そうしたいに、男の方って我がままですね。(笑)

記者 やっぱ、いつも何か

「嘘みたいな話」より、考え物
落語家 笑福亭松鶴
近頃また賭け事が盛んになって参りましたような塩梅で。仲間

間に誠に本当に賭け事の虫のような人間がございませう。丁半博打即ち、二つのさいころの目の合わせた数の奇数か偶数によって勝負をつける方法ですから、どんな相手でも、俺は知らぬから嫌だとは言えないのでございませう。
或る時私は一つの理屈を発見した、と言うのも大袈裟ですが、二個のさいころなれば次の三つの場合より無い。即ち、第一は二つ共半、つまり奇数が出た場合ですな、此の場合半と半と加えると合計は丁、つまり偶数になります。第二の場合は丁と丁で、これは勿論丁です。ただ第三の場合、一個宛丁と半と出た場合だけが合計半になります。で丁の目は半の目の倍だけ出る割合だ、だから、「そんな理前の合わん博打は嫌だ」と、言っちゃったのですが、「昔からそんな筈はないがなあ」と、さいころを空振りしながら首を傾げて狐につままれたような顔をしています。さあ、皆様はどうお考えになりますか？ 答えは兎も角この理屈で、暫くの間でも楽屋から柄の悪い遊びを追払ったという昔の手柄話でございます。はい、御退屈さま。

五代目笑福亭松鶴(しようふくてい・しよかく)「一八八四〜一九五〇」
貴重な資料を後世に伝え、上方落語の復興に果たした功績は大きい。

駐在さんの真心

—あるご婦人からの投稿—

ある日の昼下がりに、「ピンポーン」の音に、私は家事の手を止めてインターフォンの受話器を取った。

「〇〇駐在所の者ですが、〇〇君いらっしゃいますか？」

の声。小学四年の次男が下校中に事故にでもあったのか、さては何かやらかしたのかと、ドキドキしながら玄関ドアを開けた。

そこには、春のやわらかい日差しの中、にこやかに一枚の紙を手にした中年の駐在さんがいた。

「実は今日の朝、駅前交差点で登校する小学生たちを見守っていたら、〇〇君が近づいてきて、『これ、落ちていました』と言って五百円玉を差し出したんです。どこで拾ったの？ 名前は？ 住所は？ と質問すると、ハキハキと答えてくれましたよ。あの五百円、どうなったのかな？ と彼が心配していたらいけないと思って、取得物の書類を作ってきたんです。どうぞ彼に渡してあげてください。誉めてあげてくださいね」

笑顔で一礼して駐在さんは

帰っていった。

私は、さっそく書類を作って届けにきてくれた駐在さんの思いやりがうれしかった。拾ったお金を駐在さんに渡した次男の行動もうれしかった。そして何より、そういう場面と出会いを次男に与え、自分の心まで温めてくださった親神様・教祖に感謝した。

取得物の書類は、次男と共に神実様の前に供えた。



「陽気」読者講演会

家族が一番の抗がん剤

—パパ、一人じゃないからね—

高杳禎彦

(ようぼく・俳優 元エッセイカース)

十月二十五日(土)

午後二時より

陽気ホール(おやさとかかた)

南右第二棟四階

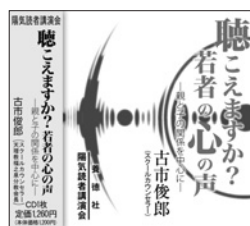


五年前、胃がんで胃を全摘した氏が、信仰を通して得た生きる勇気を語る。

「陽気」創刊59周年記念懸賞エッセイ募集中

枚数 20枚から25枚(400字詰め)
締切 7月31日(消印有効)
1等 正賞 盾 副賞 10万円
2等 正賞 盾 副賞 5万円
3等 正賞 盾 副賞 3万円
詳しくは、「陽気」5、6月号をご覧ください。

講演会CDの紹介



聴こえますか?

若者の心の声

—親と子の関係を中心に—
古市俊郎(スクールカウンセセラ
ー・天理教福祉之泉分教会長)

1,260円(税込)

お道も「熱心さだけでは伝わらない」と思い、41歳からカウンセリングの勉強を始めた講師が語る、おたすけに生かせる親子のコミュニケーションの話です。四月号まで『陽気』に連載しました。幼児から小学生、中学生から青年期へ——成長段階ごとに子どもへの心構えがわかれば、子育ては楽になる。親が心すべきことがやさしく説かれていきます。「話す」「聞く」意味を、ユニークな表現で再認識させてくれる内容です。

※ご購入は、おちばの各書店でお求めくださるか、直接当社へご注文ください。

(☎0743・62・4503)

養徳社 よもやま話

☆クイズです。

トンビとカラスどっちが強
い? トンビは体が大きいし、
カラスは賢いし。トンビは油
揚げを横取りするずるもあるし、
カラスは、ヒッチコックの映画
で人間を恐怖におとし入れるし
つこさもあるし……。

そのガチンコ勝負を先日、吉野の山中で見た。一対一の空中戦の末、カラスがトンビを撃退した。

ここで隣の夫から横やりが。「自然も人間も同じだな。トンビトートー、カラスカーカー。やっぱりカーカー(かかあ)が強かった」だとき。

広告を載せませんか

ようぼくの企業や会社の広告を『陽気』誌へ載せてみませんか? 掲載料金は、広告の大きさによって異なります。料金は、記事中で一回二万円から。

詳しくは養徳社広告係まで
☎0743・62・4503

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

養徳社